

夏はゆく

市川茂子

味噌汁の具をきざみつつ「提案」の一汁一菜吾がためなりと

炎暑日のつづきて静かにこもる間を目にあざやかなサルスベリ咲く

クラスター気にしつつ来しデイサービスに昼餉の後はトレーニングあり

宇宙より生氣集めて舞うという愛と祈りを平和のために

みさひ
(雅氣功氣舞のビデオにて)

国々の平和を祈る氣功舞い巡る季節の花に寄せつつ

静謐になりいるめぐりコロナ禍の長き日々にて夏はゆくなり

ほおずきが垣根に赤くうれており夕暮れの路地八月の尽

向い家のヒマワリ二本咲き終えて大き花房首たれしまま

人生を上出来と言う作家にて九十七の断筆宣言

果つるまで書くとう佐藤愛子さん前年の言を撤回したり